全国消防長会・一般財団法人全国消防協会

2026年 10 月 27日

週間情報

No.0841

発行：全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: https://www.fcaj.gr.jp/

目 次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

◆ 令和８年度全国消防長会予防委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会予防委員会

◆ 消防実務講習会（予防業務研究会）を開催

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部

◆ 消防実務講習会を開催

一般財団法人全国消防協会近畿地区支部

◆ 「消防実務研修会」を開催

静岡県東部消防長会（静岡）

消 防 本 部 の 動 き

▽行 事

◆ 高規格救急車および電動ストレッチャーの寄贈・配備式を実施

熱海市消防本部（静岡）

◆ 「熱中症対策支援及び防災・減災の普及啓発等に関する連携協定」締結記念式典を開催

児玉郡市広域消防本部（埼玉）

▽訓 練

◆ 方面訓練を実施

東京消防庁（麻布消防署）

◆ 愛媛県消防防災航空隊と合同訓練を実施

大洲地区広域消防事務組合消防本部（愛媛）

◆ 「住宅密集地火災防御訓練」を実施

鯖江・丹生消防組合消防本部（福井）

◆ 中部クレーン協会と合同救助訓練を実施

鳥取中部ふるさと広域連合消防局（鳥取）

◆ 大規模林野火災訓練を実施

猪名川町消防本部（兵庫）

◆ 多数傷病者対応訓練を実施

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

◆ 旅客船事故対応訓練を実施

笠岡地区消防組合消防本部（岡山）

◆ 重機合同訓練を実施

大館市消防本部（秋田）

◆ 第２回岩手県消防救助技術研究訓練会を開催

大船渡地区消防組合消防本部（岩手）

◆ 大型車両交通救助対応訓練を実施

岡山市消防局（岡山）

目次に戻る

▽研　修

◆　「消防職員ハラスメント防止研修」を開催

羽生市消防本部（埼玉）

◆　「予防講習会」を実施

取手市消防本部（茨城）

◆　職場内研修を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

◆　人材育成研修会を実施

石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）

◆　「パワハラ防止」×「指導の受け方」研修を実施

伊勢崎市消防本部（群馬）

▽その他

◆　消防協力者に感謝状を贈呈

七尾鹿島消防本部（石川）

◆　人命救助功労者に感謝状を贈呈

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部（福島）

◆　環境局と連携したモバイルバッテリーの火災予防啓発動画を公開

堺市消防局（大阪）

◆　消防・警察合同作成「野焼き火災予防ポスター」を掲示

東近江行政組合消防本部（滋賀）

◆　マイナ救急啓発運動を実施

小山市消防本部（栃木）

◆　小学生を対象とした地域連携防災教育を実施

福岡市消防局（福岡）

◆　林野火災注意報等の発令条件を再現した下草火災の燃焼実験を実施

松本広域消防局（長野）

◆　松山市消防職員意見発表会を開催

松山市消防局（愛媛）

◆　セルフ給油取扱所夜間特別査察を実施

筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

消 防 学 校 か ら の 便 り

◆　女性活躍推進と組織運営を考える特別教育を開催

鹿児島県消防学校

国　　等　　の　　動　　き

▽消防庁通知等

◆　今冬の急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）の感染拡大に備えた消防機関の救急に係る留意事項について（依頼）

（事務連絡、令和８年１０月５日）

◆　密集住宅市街地における防火対策及び火災防ぎょ計画の充実について

（消防消第３９５号、消防予第４５８号、令和８年１０月１３日）

▽報道発表

◆　第４７回危険業務従事者叙勲（消防関係）

（令和８年１０月１０日、消防庁）

▽情報提供

◆　日本ＣＢＲＮＥ学会／ＮＢＣＲ対策推進機構共催シンポジウム

主催：特定非営利活動法人ＮＢＣＲ対策推進機構、一般社団法人日本ＣＢＲＮＥ学会
後援：全国消防長会

目次に戻る

両会の動き

◆　令和８年度全国消防長会予防委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会予防委員会

令和８年１０月２１日（水）、鳥取県米子市（米子コンベンションセンター）において、令和８年度全国消防長会予防委員会秋季常任委員会を開催しました。

会議の議事等は、次のとおりです。

【議題】

１　「標準火災調査鑑識・鑑定マニュアル」に関する実態把握について

２　次期開催地について

【情報交換】

１　飲食店等に設置される業務用のコーヒー焙煎機の火災予防条例上の取り扱い等について

２　学校に対する自衛消防訓練等の推進について

【情報提供】

１　機械学習ＡＩを活用した違反予測リストの作成について

２　消防研究センターの体制と事業概要について

３　日本消防検定協会の業務紹介等

４　日本火災報知機工業会の取り組みについて

５　令和８年度予防広報委員会等について

６　一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ

【消防庁講話】

最近の予防行政の動向について



【委員長挨拶】



【会議の様子】

目次に戻る

◆　消防実務講習会（予防業務研究会）を開催

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部

一般財団法人全国消防協会東近畿地区支部では、令和８年１０月９日（金）、石川県金沢市において、消防実務講習会（予防業務研究会）を開催しました。

当講習会では、開催地予防課長（川縁予防課長）のあいさつの後、第１部では、ｉＣｒａｆｔ法律事務所代表弁護士弁理士・内田誠氏から「生成ＡＩの基本とリスク管理～著作権・営業秘密・個人情報～」についてのご講義をいただいきました。

第２部では、東京消防庁 査察エキスパート 全国違反是正支援アドバイザー・加藤元宏氏から「違反処理（命令・告発）の実践的手法」のご講義をいただきました。

今後も、知識・技術の向上のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【講習会の様子】

◆　消防実務講習会を開催

一般財団法人全国消防協会近畿地区支部

一般財団法人全国消防協会近畿地区支部では、令和８年１０月１５日（木）、大阪府大阪市において、消防実務講習会を開催しました。

当講習会では、米海軍日本管区司令部消防隊日本地域訓練課長・日埜雄平氏から「日米クロストーク（警防から総務のことまで海外消防の実情とは・・・）」についてのご講義をいただいきました。

今回の実務講習会は対話形式により実施し、参加者からも意見をいただき各本部の状況についても共有しながら進行しました。

今後も、知識・技術の向上のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【講習会の様子】

目次に戻る

◆　「消防実務研修会」を開催

静岡県東部消防長会（静岡）

静岡県東部消防長会（下田消防本部、駿東伊豆消防本部、熱海市消防本部、富士山南東消防本部、御殿場市・小山町広域行政組合消防本部、富士市消防本部、富士宮市消防本部）では、令和８年１０月８日（木）、「消防実務研修会」を開催しました。

この研修会は、総務省消防庁におけるＡＩの業務活用についての取り組みを学ぶことを目的として開催したものです。

当日は、約７０人が参加し、総務省消防庁救急企画室の金子洋氏を講師に迎え、「消防業務におけるＡＩ活用事例や今後の展望について」をテーマに講義いただき、消防指令システムなどにおけるＡＩ活用や救急業務のＤＸ導入などについて、具体的な活用事例や今後に向けた取り組みを学ぶことができました。

今回の研修を通じて得られた知見を踏まえ、各消防本部におけるＡＩ活用や導入に向けた検討につなげてまいります。





【研修会の様子】

目次に戻る

消防本部の動き

▽行　事

◆　高規格救急車および電動ストレッチャーの寄贈・配備式を実施

熱海市消防本部（静岡）

熱海市消防本部では、令和８年９月１５日（火）、高規格救急車および電動ストレッチャーの寄贈・配備式を実施しました。

この寄贈は、市内で暮らす原谷様が昨年２月に愛犬のミミちゃんを亡くされ深い悲しみの中、自宅内で転倒し救急搬送された経験から、命を救う重要な使命を担う救急隊の活動に役立ててほしいとの思いにより、高規格救急車と当消防本部初となる電動ストレッチャー１台を寄贈していただいたものです。

寄贈された高規格救急車は、「原谷治美（ハルミ）様」と愛犬「ＭＩＭＩ（ミミ）」の名前にちなみ「ＨＡＲＵＭＩＭＩ（ハルミミ）号」と命名され、熱海市消防署へ配備されました。

また、この寄贈には、地域社会への貢献や動物愛護などを通じた「寄贈・寄付文化」の普及への思いも込められています。

当消防本部では、「ＨＡＲＵＭＩＭＩ号」とともに、今後も職員一丸となって救急救命活動に全力で取り組んでまいります。



【救急隊によるデモンストレーション】



【寄贈・配備式後の記念撮影】

◆　「熱中症対策支援及び防災・減災の普及啓発等に関する連携協定」締結記念式典を開催

児玉郡市広域消防本部（埼玉）

児玉郡市広域消防本部では、令和８年１０月９日（金）、埼玉北部ヤクルト販売（株）と「熱中症対策支援及び防災・減災の普及啓発等に関する連携協定」締結記念式典を開催しました。

この協定は、消防職員の熱中症対策支援をはじめ、住民の防災意識の向上や健康づくりの推進を図り、地域の安全・安心に資することを目的として締結したものです。

本協定に基づく最初の取り組みとして、猛暑期における消防活動時の熱中症対策支援事業を実施し、ヤクルト販売所から提供いただく氷を活用することで、厳しい暑さの中で活動する消防職員の安全確保を図り、安定した消防活動につなげてまいります。

また、同社が有する地域ネットワークを活用し、防災啓発や健康づくりに関する情報発信などの普及啓発活動にも連携して取り組むこととしています。

今後は、本協定を出発点として地域課題の解決に向けた取り組みを推進し、地域の安全・安心の確保に一層努めてまいります。



【式典の様子】



【式典後の記念撮影】

目次に戻る

▽訓　練

◆　方面訓練を実施

東京消防庁（麻布消防署）

東京消防庁麻布消防署では、令和８年９月２４日（木）および２５日（金）の２日間、興和西麻布ビルにおいて、第一消防方面本部と連携し、方面内１０署延べ１２０人が参加する方面訓練を実施しました。

この訓練は、若年層職員を中心に、エンジンカッターなどを活用した実際の建物内におけるドアや窓の破壊訓練、内部構造が把握できない暗所の災害現場を想定した人命検索救助訓練を実施しました。

普段の訓練環境では再現が難しい実際の施設を活用した破壊訓練や検索救助訓練を経験することで、より実践的な災害対応能力の向上を図りました。

参加した隊員は真剣に訓練に取り組み、地域の安全・安心なまちづくりに向けて意識を高めました。



【玄関ドア切断訓練】



【屋内検索訓練】

◆　愛媛県消防防災航空隊と合同訓練を実施

大洲地区広域消防事務組合消防本部（愛媛）

大洲地区広域消防事務組合消防本部では、令和８年９月２４日（木）、愛媛県喜多郡内子町平岡小田川河川敷飛行場外離着陸場において、愛媛県消防防災航空隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、令和５年に大洲市戒川で発生した林野火災を教訓として、林野火災への対応力向上を目的に実施したものです。

訓練では、林野火災発生時における情報収集や消火活動、安全管理などを確認するとともに、災害現場で要救助者が発生したことを想定した救急・救助活動を実施しました。

今回の訓練を通じて、林野火災への迅速な初動対応に加え、消防隊、救急隊、救助隊および関係機関が緊密に連携することの重要性を改めて認識しました。

今後も、戒川林野火災で得られた経験や教訓を風化させることなく、継続的な訓練と検証を重ね、地域住民の生命と財産を守るため、災害対応力のさらなる向上に努めてまいります。



【消火バケツへの給水訓練の様子】

目次に戻る

◆　「住宅密集地火災防御訓練」を実施

鯖江・丹生消防組合消防本部（福井）

鯖江・丹生消防組合消防本部では、令和８年９月２７日（日）、鯖江市本町３丁目の本山誠照寺およびその周辺において、「住宅密集地火災防御訓練」を実施しました。

この訓練は、住宅密集地における火災発生時の被害を最小限に抑えるため、過去の大規模火災の教訓を踏まえ、地域住民や関係機関との連携を図るとともに、効果的な出火防止対策や消防活動体制の確立を目的として実施したものです。

訓練では、住宅密集地における火災を想定し、消防職員および消防団員による消火活動のほか、ホース延長および放水、現場指揮本部の設置、関係機関との情報共有など、実災害を想定した実践的な訓練を行いました。

また、地域住民も参加し、避難誘導や文化財の搬出訓練を実施するなど、地域一体となって火災対応力の向上を図りました。

今後も、実践的な訓練を重ね、消防体制の充実強化を図ります。




【訓練の様子】

◆　中部クレーン協会と合同救助訓練を実施

鳥取中部ふるさと広域連合消防局（鳥取）

鳥取中部ふるさと広域連合消防局では、令和８年９月２９日（火）、中部クレーン協会と合同救助訓練を実施しました。

この訓練は、令和８年１月に中部クレーン協会と「災害時における消防活動の協力に関する覚書」を締結してから初めての合同訓練であり、クレーン事業者との現場活動における役割分担、情報共有および安全管理について相互に確認し、実災害における対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、「自然災害により車両および要救助者の上に重量物が落下した」との想定で、クレーン事業者と救助隊が連携し、クレーンによる重量物の除去および要救助者の救出活動を行いました。

訓練を通じて、連携して活動する際の情報共有や安全確認、活動手順について相互に確認することができ、実災害における円滑な救助活動につながる有意義な訓練となりました。

今後も関係機関との連携を強化し、災害対応力の向上に努めていきます。




【訓練の様子】

目次に戻る

◆　大規模林野火災訓練を実施

猪名川町消防本部（兵庫）

猪名川町消防本部では、令和８年９月２７日（日）および１０月４日（日）の２日間、大規模林野火災訓練を実施しました。

この訓練は、ＩＣＴを活用した関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、今年度、町が導入した町独自災害情報共有アプリ「ＲＥＤ（消防団活動支援アプリ）」および「消防庁映像共有システム」を活用して、総務省消防庁、町役場（災害対策本部）、当消防本部（作戦室）および現場指揮所が連携して、約８０～１００ｈａの山林を舞台に、電波不感地帯対策、ドローン活用および映像共有の実証を行いました。

訓練は、「山林から出火した火災が風にあおられて延焼拡大し、さらに消火活動中の飛び火により第２・第３出火点が同時多発的に発生した」との想定で、ブラインド形式により実施し、消防職員や消防団員など延べ約１２０人が参加しました。

訓練に参加した消防団員は、ＲＥＤからの指示に従い出火地点へ急行し、背負い式消火水のうを用いて消火活動を行いました。

また、災害対策本部や作戦室では、団員の位置情報やドローンからの映像をＲＥＤおよび消防庁映像共有システムで確認しました。




【訓練の様子】

◆　多数傷病者対応訓練を実施

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、令和８年１０月６日（火）、休館日の常総運動公園において、多数傷病者対応訓練を実施しました。

この訓練は、同時に多数の傷病者が発生した災害に対応するため、各隊の活動任務、共通認識および部隊運用能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、「管内の幹線道路において交通事故により多数の傷病者が発生した」との想定で、消防車両など１１台、６８人が参加して活動を実施しました。

また、筑波メディカルセンター病院の協力により、同病院のドクターカー医師および看護師が訓練に参加するとともに、メディカルアドバイザーとして全体検証を行いました。

今回の訓練は、外部機関との連携を図る実践的な訓練として実施され、今後も関係機関との連携訓練を継続し、多種多様な災害への対応能力の向上に努めます。




【訓練の様子】

目次に戻る

◆　旅客船事故対応訓練を実施

笠岡地区消防組合消防本部（岡山）

笠岡地区消防組合では、令和８年１０月７日（水）、水島海上保安部および三洋汽船株式会社と合同で旅客船事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、海上における旅客船事故に備え、関係機関との連携強化と、旅客船事故への対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

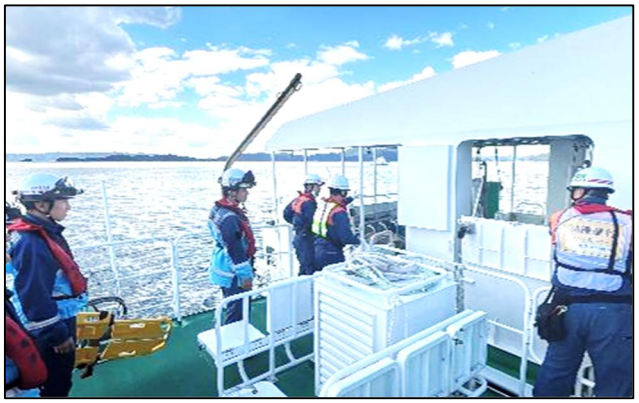
訓練では、「旅客船「つむぎ」の両舷プロペラにロープが絡まり航行不能となり、多数の負傷者が発生した」との想定のもと、訓練を実施しました。

救急艇「みたけ」が「つむぎ」に接舷して綱で固定し、傷病者を救出する訓練を行ったほか、水島海上保安部による「つむぎ」の曳航訓練を実施しました。

今回の訓練を通じて、旅客船事故発生時における関係機関との連携や対応手順を確認することができました。



【救急艇「みたけ」を接舷】



【旅客船「つむぎ」からの傷病者救出】

◆　重機合同訓練を実施

大館市消防本部（秋田）

大館市消防本部では、令和８年１０月９日（金）、大館市比内町片貝の土木ストックヤードにおいて、盛岡地区広域消防組合消防本部（岩手県）および弘前地区消防事務組合消防本部（青森県）と重機合同訓練を実施しました。

この訓練は、県境をまたいだ北東北３県の重機隊の連携強化、相互の災害対応力の向上および顔の見える関係づくりを目的として、令和２年度から毎年実施しているものです。

当日は、「土砂災害により複数の行方不明者が発生した」との想定でブラインド型訓練を実施しました。各重機隊は、捜索範囲や救出方法を協議した上で一斉に活動を開始し、状況判断力および即応力の向上を図りました。

今後も合同訓練を継続し、さらなる連携強化に努めます。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

目次に戻る

◆　第２回岩手県消防救助技術研究訓練会を開催

大船渡地区消防組合消防本部（岩手）

大船渡地区消防組合消防本部では、令和８年１０月８日（木）および９日（金）の２日間、第２回岩手県消防救助技術研究訓練会を開催しました。

この研究訓練会は、救助技術の向上および消防本部間の連携強化を図ることを目的として開催したもので、岩手県内１２消防本部のうち７消防本部が参加しました。

訓練では、１日目に実災害を想定した２つの訓練想定を設定し、１つの想定に対して複数の消防本部が合同で救助活動を行う連携訓練を実施し、各救助隊は、限られた時間や活動条件の中で状況判断や救助手法の選択、隊員間の連携を図りながら、実践的な救助活動を展開しました。

２日目には、Ｗｅｂ会議による活動報告会を開催し、各消防本部の救助手法や活動要領を振り返るとともに、課題や改善点を共有しました。

今後も本研究訓練会を通じて、救助技術の向上と消防本部間の連携体制のさらなる強化に努めてまいります。



【中洲救助：単独実施】



【複数傷病者の引揚救助：合同実施】

◆　大型車両交通救助対応訓練を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和８年１０月１１日（日）、岡山市消防教育訓練センター総合訓練施設において、大型車両交通救助対応訓練を実施しました。

この訓練は、大型車両の構造・特性を理解するとともに、今年度更新した震災工作車の有効活用および災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、有限会社時信レッカーセンターから講師を招へいし、実車両を使用してエアブレーキの解除方法や牽引方法などについて専門的な知識・技術を学びました。

今回の訓練で習得した知識・技術を生かし、大型車両交通事故現場において震災工作車を効果的に活用することで、安全かつ迅速な救助活動につなげていきます。



【震災工作車】



【訓練の様子】

目次に戻る

▽研　修

◆　「消防職員ハラスメント防止研修」を開催

羽生市消防本部（埼玉）

羽生市消防本部では、令和８年９月２８日（月）、消防職員を対象に「消防職員ハラスメント防止研修」を開催しました。

この研修は、ハラスメントに関する知識を深め、職員間の円滑なコミュニケーションを促進することを目的として実施したものです。

当日は、株式会社ツタワル木代表取締役の工藤邦彦氏を講師としてお招きし、ハラスメントの基礎知識や指導とハラスメントの違い、ハラスメントを未然に防止するためのコミュニケーション手法について学びました。

また、グループワークを交えながら職場で起こり得る事例について意見交換を行い、さまざまな考え方や対応方法を共有することで、相手の立場を尊重したコミュニケーションや適切な指導の重要性について理解を深めました。

今後は、研修で学んだ知識や手法を日々の業務に生かし、互いを尊重し合える風通しの良い職場環境づくりに努めてまいります。





【研修の様子】

◆　「予防講習会」を実施

取手市消防本部（茨城）

取手市消防本部では、令和８年１０月５日（月）、６日（火）の２日間、隔日勤務職員を対象とした「予防講習会」を実施しました。

この講習会は、立入査察における適切な対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

両日で６６人が参加し、予防課職員が講師となり、受講者は３つの事例を通じて、各隊ごとに机上で防火対象物の事前調査から収容人員算定、有窓無窓階判定、用途判定などについてグループワークを行い、実践的な技術と知識の向上を図りました。

当消防本部では今後も継続的な教育・研修を実施し、職員一人ひとりの予防知識・技術のさらなる向上を図るとともに、市民の皆さまが安全・安心に暮らせるまちづくりに努めてまいります。



【講習会の様子】



【グループワークの様子】

目次に戻る

◆　職場内研修を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和８年１０月２日（金）および７日（水）の２日間、全職員を対象とした職場内研修を実施しました。

この研修は、職員間のコミュニケーションを向上させ、最高のマンパワーを発揮できる組織を目指すことを目的として実施したもので、一般財団法人消防救助技術開発代表の八櫛徳二郎氏を講師にお招きし、「多野藤岡消防組織力最大化プログラム」と題した研修を実施しました。

研修では、２日間にわたり全職員を対象として、コミュニケーション向上のための傾聴技術、認め合いミーティングおよび褒める瞬発力などについて、体験学習を中心に研修を行いました。

普段は接することが少ない職員同士も、研修が進むにつれて打ち解け、非常に明るく活気のある研修となりました。

当消防本部は、職員相互のコミュニケーションを大切にし、最高のマンパワーを発揮できる組織を目指して、今後も尽力してまいります。





【研修の様子】

◆　人材育成研修会を実施

石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）

石巻地区広域行政事務組合消防本部では、令和８年１０月９日（金）、消防司令以上の階級にある消防職員を対象に人材育成研修会を開催しました。

この研修会は、ハラスメント防止と事故防止を組織マネジメントの共通課題として捉え、適切な指導方法や職員が意見を発信しやすい職場づくりについて学ぶことで、組織力の向上と良好な職場環境の構築を図ることを目的として、宮城県消防学校校友会事業助成を受けて開催したものです。

当日は、消防大学校客員教授であり東京消防協会理事長の上田伸次郎氏を講師にお招きし、「組織が発展するコミュニケーション」と題して、ハラスメント防止と事故防止を織り交ぜた講義をいただいたほか、受講者からの活発な質疑に対して丁寧なアドバイスが送られ、非常に有意義な研修会となりました。

今後もハラスメントを許さない職場環境づくりに努めていきます。





【研修会の様子】

目次に戻る

◆　「パワハラ防止」×「指導の受け方」研修を実施

伊勢崎市消防本部（群馬）

伊勢崎市消防本部では、令和８年１０月８日（木）、９日（金）の２日間、コミュニケーションサポートオフィスの喜山志津香氏を講師にお招きし、消防長以下全職員を対象に「パワハラ防止」×「指導の受け方」研修を実施しました。

この研修は、健全な職場環境づくりを推進することを目的として実施したものです。

研修では喜山氏から、「ハラスメントを正しく理解するとともに、指導する側である上司、指導を受ける側である部下・後輩がともに円滑なコミュニケーションを作り上げていくことで、人が育ち、組織力の向上につながる。」とのお言葉をいただきました。

指導する側が穏やかに向き合うことで、部下や後輩が安心して相談できる職場環境が整います。一方、指導を受ける側も、指導や助言を素直に受け止め、自らの成長につなげる姿勢が求められます。

今後は、この研修で得た学びや気づきを日々の業務に生かし、市民の安全・安心を支える組織力の向上に努めてまいります。





【研修の様子】

目次に戻る

▽その他

◆　消防協力者に感謝状を贈呈

七尾鹿島消防本部（石川）

七尾鹿島消防本部では、令和８年１０月５日（月）、消防協力者４人に対して感謝状を贈呈しました。

本事案は、国道上で発生した車両火災において、現場近くで作業中であった一家４人が、停車中のトラックからの白煙をいち早く発見し、運転手からの協力依頼に応じて、持参していたバケツを用いたバケツリレーによる迅速な初期消火を行うとともに、周辺の交通整理を実施したものです。

付近には民家が隣接しており、延焼拡大および交通への影響が懸念される緊迫した状況でしたが、４人の息の合った連携により、事態の拡大が阻止されました。

表彰式では、「たまたまあの場所にいたから消火できたんだと思う」「この４人じゃなきゃ消せなかった」「言わずともお互いが役割を果たしていた」と、当時を振り返りながら話されました。

消防協力者４人の勇気ある行動と見事なチームワークにより、被害拡大の防止に大いに貢献されたことに対し、心から感謝と敬意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆　人命救助功労者に感謝状を贈呈

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部（福島）

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部では、令和８年１０月１３日（火）、人命救助功労者４人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました（うち１人は郵送により贈呈）。

本事案は、同年７月２日（木）、飯豊山登山道で発生した救急救助事案において、人命救助功労者４人が協力して応急手当を実施するとともに、傷病者を山小屋まで救出したものです。

また、翌日、救助隊が到着するまで傷病者を保護し、救助隊へ引き継いだものです。

４人の迅速かつ的確な行動により、人命救助に大きく貢献されたことに対し、心から感謝と敬意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

目次に戻る

◆　環境局と連携したモバイルバッテリーの火災予防啓発動画を公開

堺市消防局（大阪）

堺市消防局では、令和８年９月１日（火）から、環境局と連携して作成したモバイルバッテリーに関する火災予防啓発動画を、堺動画チャンネル（ＹｏｕＴｕｂｅ）で公開しています。

この取り組みは、モバイルバッテリーに起因する火災が全国的に増加しており、当消防局管内においても同様の傾向が見られることから、類似火災の防止を目的として実施したものです。

同年７月２８日（火）からＳＮＳや市ホームページを活用した広報を行っており、本動画の公開もその取り組みの一環です。

動画には、当消防局公式キャラクター「タッシー」と堺市環境マスコットキャラクター「ムーやん」が出演しています。モバイルバッテリーによる出火事例の紹介に加え、出火時の対応方法や適切な廃棄方法について、分かりやすく解説しています。ぜひ、以下の二次元コードからアクセスのうえ、ご覧ください。



【火災予防啓発動画】

【動画の詳細はこちら】
（堺動画チャンネル）

◆　消防・警察合同作成「野焼き火災予防ポスター」を掲示

東近江行政組合消防本部（滋賀）

東近江行政組合消防本部では、令和８年９月１４日（月）、管内において野焼きが原因となる火災が多発していることを受け、滋賀県近江八幡警察署および滋賀県東近江警察署と合同で作成した「野焼き火災予防ポスター」の掲示を開始しました。

この取り組みは、野焼きから林野へ延焼し、甚大な被害につながることも懸念されることから消防と警察がそれぞれの立場から火災予防を呼びかけることで、地域住民への注意喚起を図ることを目的として実施したものです。

作成したポスターは、管内の大型店舗や公共施設などに掲示し、広く火災予防を呼びかけています。

今後も、消防と警察の連携を強化し、地域の実情に応じた効果的な広報活動に取り組んでまいります。



【火災予防の注意喚起】



【野焼き火災予防ポスター】

目次に戻る

◆　マイナ救急啓発運動を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和８年１０月１日（木）から１２月３１日（木）までの期間、マイナ救急啓発運動を実施しています。

この取り組みは、マイナ救急の普及啓発および利用促進を図ることを目的として実施するものです。

当消防本部では、「マイナンバーカード交付事務費補助金」を活用し、マイナンバーカードや救急車のデザイン、「あなたの命を守る マイナ救急」「素早い判断・適切な治療につながります」などのメッセージを印字したオリジナル感染防止衣を作成しました。

救急隊員が救急活動や救急イベントなどで着用することで、日常の救急活動そのものを広報の機会と捉え、市民の皆さまにマイナ救急を身近に感じていただく「着る広報媒体」として活用します。

今後もさまざまな機会を通じてマイナ救急の周知を図り、利用促進につなげてまいります。





【オリジナル感染防止衣】

◆　小学生を対象とした地域連携防災教育を実施

福岡市消防局（福岡）

福岡市消防局では、令和８年１０月８日（木）、福岡市立和白東小学校３年生１１４人を招き、花植え活動と防災体験を実施しました。

この取り組みは、福岡市が推進する「一人一花運動」の一環として、花をきっかけに消防署と地域とのつながりを深めるとともに、児童の防火・防災意識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、児童と消防職員が協力してフラワーポットに花苗を植えた後、煙避難体験や水消火器を使用した消火体験を行い、避難行動や初期消火の基本について学びました。

花植えと防災体験を組み合わせることで、児童が消防署を身近に感じながら防災について学ぶ機会となりました。

今後も学校や地域、関係機関との連携を深め、安全・安心なまちづくりを推進してまいります。



【水消火器体験の様子】



【花植え活動の様子】

目次に戻る

◆　林野火災注意報等の発令条件を再現した下草火災の燃焼実験を実施

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和８年１０月９日（金）、丸の内消防署庄内出張所において、林野火災注意報等の発令条件を再現した下草火災の燃焼実験を実施しました。

この実験は、林野火災注意報等の発令に伴う火災リスクの変化を目に見える形で確認するとともに、これからの時季に増加する林野火災や下草火災の発生抑止および住民の防火意識の高揚を目的として実施したものです。

実験では、通常時、林野火災注意報発令時、火災警報発令時および林野火災注意報解除時の４つの状況を再現し、たばこやマッチなどの火源を用いて下草に着火し、燃焼速度を計測しました。

今後は、実験結果を動画などにまとめて周知・展開し、火災リスクへの理解を深めていただくとともに、「伝わる」広報を通じて、住民の防火意識の向上と林野火災などの発生防止に取り組んでまいります。



【燃焼実験の様子】



【林野火災注意報発令条件下での燃焼状況】

◆　松山市消防職員意見発表会を開催

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和８年１０月１３日（火）、松山市消防職員意見発表会を開催しました。

この意見発表会は、業務に対する提言や取り組むべき課題などについて自由に発表し、消防業務の諸問題に関する一層の知識の研さんや意識の高揚を図ることを目的として、平成６年度から開催しているもので、今回で３３回目となり、令和８年度愛媛県消防長会消防職員意見発表会に出場する代表者の選考も兼ねています。

これまでに、本発表会で選考された職員のうち３人が全国消防職員意見発表会で最優秀賞を受賞しています。

発表会では、４人の若手職員が出場し、市民の防災意識向上につながる取り組みや救急の知識・技術の伝承などについて発表しました。

今後も本発表会を通じて、消防業務に関する知識をさらに深め、職員の意識の高揚を図り、組織の活性化につなげてまいります。



【発表会の様子】



【発表会後の記念撮影】

目次に戻る

◆　セルフ給油取扱所夜間特別査察を実施

筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

筑西広域市町村圏事務組合消防本部では、令和８年１０月１５日（木）、管内のセルフ給油取扱所に対して、無通告による夜間特別査察を実施しました。

この査察は、早朝や夜間などの時間帯において、適切な監視業務体制が確保されているか、また無資格者による運営となっていないかを確認することを目的として実施したものです。

本査察は平成３０年から毎年実施しており、本年は１８時３０分から管内２０事業所を対象に実施したところ、法令違反などは確認されませんでした。

今後も、本事業を継続することで、管内のセルフ給油取扱所を利用する顧客の安全確保および法令遵守に努めてまいります。





【査察の様子】

消防学校からの便り

◆　女性活躍推進と組織運営を考える特別教育を開催

鹿児島県消防学校

鹿児島県消防学校では、令和８年１０月７日（水）、女性活躍推進アドバイザーの松本氏（横浜市消防局）および岡本氏（消防大学校助教）を講師にお招きし、女性活躍推進と組織運営を考える特別教育を開催しました。

この特別教育は、多様な人材が活躍できる環境づくりを促進し、消防組織の持続的な発展につなげることを目的として開催したものです。

当日は、消防本部（局）の幹部職員と女性職員、合わせて４０人が参加し、多様性を踏まえた組織運営のあり方や、今後の消防組織に求められる採用戦略について学びました。

受講者からは、女性活躍推進にとどまらず、消防組織の将来的な方向性を考える上で非常に有意義であったとの感想が寄せられました。

今後も、多様な人材が活躍できる組織づくりを推進し、県民の安全・安心を支える消防体制の強化に努めていきます。



【松本講師による講義の様子】



【岡本講師による講義の様子】

目次に戻る

国等の動き

▽消防庁通知等

◆　今冬の急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）の感染拡大に備えた消防機関の救急に係る留意事項について（依頼）

（事務連絡、令和８年１０月５日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部(局)、各消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

今夏において、新型コロナウイルス感染症をはじめとする急性呼吸器感染症等の患者が全国的に増加し、夏の間に著しい感染拡大が生じた場合、医療提供体制のひっ迫を招くおそれがあることから「今夏の急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）の感染拡大に備えた消防機関の救急に係る対応等について（依頼）」（令和８年７月１日付け消防庁救急企画室事務連絡）により、救急搬送を円滑にするための主な留意事項について周知をしました。
―以下省略―

○ 全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/261005_kyuuki.pdf）に掲載されています。

【問合せ先】
消防庁救急企画室
金子補佐、森係長、森原事務官
TEL：03-5253-7529
E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆　密集住宅市街地における防火対策及び火災防ぎょ計画の充実について

（消防消第３９５号、消防予第４５８号、令和８年１０月１３日）

消防庁消防・救急課長、消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和８年８月３１日に三重県伊勢市の商店街において、空き家及び空き店舗を含む多数の建物が焼損する火災が発生しました。
当該商店街は、「糸魚川市大規模火災を踏まえた「木造の建築物が多い地域などの大規模な火災につながる危険性の高い地域」の指定要領等について」（平成２９年７月３１日付け消防消第１９３号。以下「１９３号通知」という。）に基づく「木造の建築物が多い地域などの大規模な火災につながる危険性の高い地域」に該当するとともに、「木造飲食店等が密集する地域に対する防火指導について」（令和４年８月２６日付け消防消第３０１号・消防予第４２３号。以下「４２３号通知」という。）に基づく「重点防火指導対象地域」とされていました。
―以下省略―

○ 全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/261013_syokyu-yobou.pdf）に掲載されています。

消防庁消防・救急課　警防係
担当：髙木、野村、髙野
電話：03-5253-7522
消防庁予防課　企画調整・制度・防災管理係
担当：関、渡邊、中西
予防係
担当：藤本、谷川、清水
電話：03-5253-7523

目次に戻る

▽報道発表

◆　第４７回危険業務従事者叙勲（消防関係）

（令和８年１０月１０日、消防庁）

第４７回危険業務従事者叙勲（消防関係）受章者は、６４１名で勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝双光章	３０９名
瑞宝単光章	３３２名
計	６４１名

（受章者名等は、別紙の受章者名簿に記載されています。）（別紙省略）

発令年月日　令和８年１１月３日（火）

―以下省略―

○ 全文は、消防庁ホームページ（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/261010_soumu_3.pdf）に掲載されています。

連 絡 先
消防庁総務課
吉田係長・小沼事務官
電話 ０３－５２５３－７５２１（直通）
E-mail:fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

目次に戻る

▽情報提供

◆　日本ＣＢＲＮＥ学会／ＮＢＣＲ対策推進機構共催シンポジウム

主催：特定非営利活動法人ＮＢＣＲ対策推進機構、一般社団法人日本ＣＢＲＮＥ学会

後援：全国消防長会

趣旨：令和８年(２０２６年)７月２８日１６時２７分ごろに発生した令和８年熊本地震において、熊本県によると、１０月２日時点で、人的被害は死者３８人を含む計４１０人、住宅被害は約７４，５００棟、死者のうち２人は災害関連死の可能性があります。また、住宅・ライフライン・インフラ被害も大きく、現在も約１，３００人の被災者が避難所生活を送られています。

本シンポジウムでは、災害医療・防災の専門家により、令和８年熊本地震等の教訓も踏まえ、複合災害における対応等を検証し、今後のより効果的な被災者救護活動について議論します。

１　実施日

令和８年１１月１５日（日）１０：００～１６：５０

２　会場

国立オリンピック記念青少年総合センター（小田急線「参宮橋駅」より徒歩７分）

※対面およびＷｅｂ（オンデマンド）配信

３　主催

特定非営利活動法人ＮＢＣＲ対策推進機構、一般社団法人日本ＣＢＲＮＥ学会共同主催

４　対象者

消防職員、防災専門家、医療従事者、自衛隊員、警察、大学関係者などの専門家に加えて、広く興味ある企業、一般市民を対象とする。

５　申し込み方法

シンポジウムに参加を希望される方はリンク先に必要事項をご記入いただき登録してください。またはお問い合せ先にご連絡ください。

６　参加費（事前登録をされた消防庁関係者は会員料金といたします）

会員５，０００円、非会員６，０００円（会場参加、当日の昼食、お茶、お菓子代を含む。）

会員５，０００円、非会員６，０００円（Ｗｅｂ／オンデマンド参加）

７　プログラム

午前の部（１０：００～１１：５０）※会場受付９：３０～

(1) 開会挨拶（１０：００～１０：１０）
石井正三（日本ＣＢＲＮＥ学会理事長）

(2) 講演１（１０：１５～１１：００）
越智文雄（株式会社あかりみらい代表取締役）
「(仮)避難所生活のライフラインと衛生」

(3) 講演２（１１：０５～１１：５０）
秋冨慎司（金沢医科大学教授）
「(仮)災害医療の問題点」

午後の部（１３：２０ ～１６：４５）

(4) 講演３（１３：２０～１４：０５）
是枝大輔（京都大学ヘルスセキュリティセンター）
「熊本県保健医療福祉調整本部における対応と課題」

(5) 講演４（１４：１０～１４：５５）
長谷川学（京都大学大学院医学研究科教授）
「災害時の避難生活支援に関する考察」

(6) 講演５（１５：００～１５：４５）
奥村奈津美（防災アナウンサー）
「過去の災害から考える災害関連死―福祉防災の重要性―」

(7) パネルディスカッション（１５：５０～１６：４０）
座長　石井正三

目次に戻る

(8) 閉会挨拶（１６：４０～１６:４５）
石原雅之（ＮＢＣＲ対策推進機構理事長）
(9) 申込み方法
日本ＣＢＲＮＥ学会／ＮＢＣＲ対策推進機構共催シンポジウムに参加される方は下記のいずれかの方法にてお申し込みをお願い致します。
（今回から新たにお申込みシステムを導入しました。）
【お申込みリンク】
https://kumamoto-symposium1115.peatix.com/
① お申込み&決済システムクレジット払い、コンビニ払いも可能です。
② メール・ＦＡＸにて下記必要事項をお送りください。
（氏名、Ｅ－ｍａｉｌアドレス、電話番号、会員種別（会員・非会員）、シンポジウム（会場参加・Ｗｅｂ参加・オンデマンド参加））
※ お申込み後、事前にお振込みをいただく口座番号をお知らせいたします。

【お問い合せ先】
事務局：ＮＢＣＲ対策推進機構
東京都港区赤坂４－９－２５新東洋赤坂ビル３階
担当：岡部・遠藤・木村・石原
TEL:03－5829－6187 FAX：03－5829－6197
HP ： https://nbcr-taisaku.com E-mail：mailto:info@nbcr-taisaku.com

目次に戻る

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。



【問合せ】：「週間情報」担当・企画課　柳田　　TEL：03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03 に投稿願います。

機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。



・トップ・セカンド記事　完成原稿は不要　掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド　写真中心の自由投稿　文章：Word100 字程度／写真：JPEG1 枚

【問合せ】：企画課・吉田　　TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事：kikakeikaku@fcaj.gr.jp　消防ワイド：honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信

消防デジタルイラスト募集中！！！

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

○　あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。

○　全国消防長会ホームページの「令和版　消防デジタルイラスト集」に掲載されます。

○　ホームページ掲載時には、「○○消防本部○○作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索！！！



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設！

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

○　全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。

令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報　※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。

フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら☞

X（旧 Twitter）登録用二次元コード



目次に戻る